

## 47 回生の深見利佐子さん（筑波大学大学院博士課程所属）が東京オリンピック柔道競技（女子 57kg 級タイ代表）に出場しました

7月16日（金） 本校の柔道場にて激励会の様子取材していただきました

深見さん（中央画面）にエールを送った佐世保西高の生徒  
＝佐世保市、佐世保西高



佐世保西高卒の五輪柔道タイ代表

### 深見さん 母校が激励会

県立佐世保西高の卒業生で、東京五輪に柔道タイ代表として出場する深見利佐子さん。筑波大学大学院Ⅱのオンライン激励会が16日、同校であり、後輩たちがエールを送った。

深見さんは父がタイ人、母が日本人。6歳から柔道を始め、高校時代は個人48kg級で2度インターハイ出場。筑波大から筑波大大学院に進み、2018年にジャカルタ・アジア大会52kg級でタイ代表として銅メダルを獲得した。大学院で世界遺産学を学びながら五輪の出場切符を得た。

### 後輩「勝利を信じ応援」

激励会で生徒会の永安蒼天さん(16)と金子明日美さん(16)が「画面越しではあるが、勝利を信じ応援している」と激励。柔道部の佐々木綾さん(17)は「同じ西高生として尊敬し誇りに思っている。スポーツの力で日本とタイを明るくしてほしい」と語った。生徒らがメッセージを書き込んだ横断幕は後日、深見さんに送るといふ。

深見さんは終了後「1回戦突破が目標。見た人のおもしろいと思える柔道をしたい」と話した。

(山口紗佳)

『長崎新聞』令和3年7月17日

夢の舞台で全力を尽くした深見利佐子（左）。試合後、対戦相手と健闘をたたえ合う  
＝日本武道館



# 柔道 深見 戦い抜いた

## 佐世保育ちでタイ代表

佐世保育ちの柔道女子タイ代表、深見利佐子（中央）。3姉妹で国際大会に出場してきた



25日、柔道女子52キロ級タイ代表として東京五輪に出場した深見利佐子（27）は、3姉妹で目指してきた世界最高の舞台で堂々と戦い抜いた。父のウオラシーハ・タウィシットさん（55）、母の留子さん（54）ら家族は、長女の勇姿をライブ配信で見守った。

大学時代に柔道をしていた父の影響を受け、6歳から佐世保柔道協会少年部で競技を始めた。妹たちも姉の背中を追い、3姉妹で頑張ってきた。佐世保市立白南風小時代の休日は、夏も冬も学校の運動場でトレーニングに励んだ。市立山澄中時代は週末に強豪の世知原へ出稽古に。父は時に叱り、時に褒めながら、娘た

## 妹2人の夢も一緒に

ち寄り添い続けた。「勉強も大切」という父の教えで、高校は3人とも県立佐世保西高に進学。長女は個人で出場したインターハイ前の勉強合宿も普通に参加した。休憩時間にホテルの前の道を走るなど、文武両道を貫いた。姉の姿を見習うように、妹たちも大学院まで進んだ。タイ代表を志すきっかけは、父のタイの柔道関係者とのつながり。「タイの選考会に出させてもらえないか」。話は進み、3人そろっての挑戦が決まった。金曜の夜の便でバンコクへたち、土曜朝に着いて試合をして、日曜に日本に帰る強行軍。3人は力を合わせて夢を追ってきた。3人は2018年ジャカルタ・アジア大会など国際大会にも出場した。だが、次女の由利子さん（24）はけが、三女の明香利さん（23）は減量に悩まされ、3姉妹そろっての五輪出場はできなかった。それでも、三女は「普段は明るく陽気な姉だけど、学問との両立を図りながら、ストイックに練習を続けていた。姉の大きな夢がかなってうれし」と喜んだ。次女は「タイの柔道レベルの底上げにつながるとうれしい。私もパリを目指して頑張りたい」と力をもらった様子だった。残念ながら、長女は初戦で敗れた。でも、母は娘の奮闘に心からの拍手を送った。「彼女の努力や連やタスキが重なってビッグチャンスを手に入れた。たくさんの方々に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱい。自分の力は出し切ったと思います」（中島英雄）

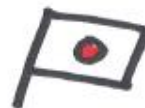
ご本人から応援へのお礼として色紙をいただきました

Some day your chance will come!

応援おがとうございました!



K. Iri



東京オリンピック柔道-52kg級 91代巻

WARASIMA Kachakorn (深見利佐子)

